

発酵熱を利用した自作培土の高温処理

福島県農業総合センター 浜地域研究所
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - トマト - 育苗
分類コード 03-04-06000000

2 担当者

常盤秀夫・水野由美子

3 要旨

自作培土の作成では、有機栽培畑土に堆肥と米ぬかを混合し、菌体資材を加えることで、発酵熱により高温処理することができる。

- (1) 高温発熱処理の方法は、土100Lに対し、堆肥60L + 米ぬか21kg + バイオ21 1.0kgを配合して山積みにし、ワラ等で保温し、無加温パイプハウス内で発酵させて発熱させる。
- (2) 発熱の温度は、地面に接する底部はあまり上昇しないが、それ以外の部分は3～4回の切り返しのたびに50以上の温度を確保できるので、培土全体を高温にさらすことができる(図1)。
- (3) 土と堆肥の混合比率を変えても発酵するが、米ぬかの量を減らすと十分な発酵熱を確保できないので注意する。

4 その他の資料等

なし